

令和4年度第2回長崎県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会  
長崎職業能力開発促進センター佐世保訓練センター一部会開催概要

〈開催概要〉

1 開催日時 令和5年1月23日（月）13：30～15：00

2 開催場所 佐世保訓練センター 視聴覚室

3 議題

- (1) 令和4年度職業能力開発業務の進捗状況について
- (2) 令和5年度職業能力開発業務の実施計画について
- (3) その他

4 議事経過

事務局から資料に沿って説明後、質疑応答、意見交換が行われた。  
主な意見の要旨は、次のとおり。

- ・建設業界は求人を出しても応募が無い。応募があってもベテラン層が多い。女性を含む若年層の応募が少ない状況である。
- ・電気工事業界では女性の雇用に力を入れている。女性用更衣室やトイレの整備等課題もあるが、積極的に採用していきたい。
- ・機械業界は人手不足である。4月の新卒高校生が採用できない。他の地区で大手企業の工場進出が決まったが、それにより新規雇用が増えることは良いことだが、地元の既存中小企業の労働力不足及び流失等にも同時に対応してほしい。
- ・コロナ禍において、商工会議所主催の集合型のセミナーは受講者がかなり減少している。次年度からはオンラインでのセミナーを中心に実施していく。
- ・国は、従業員のスキルアップを柱に人への投資で生産性を向上させ、そして成長分野に労働力が流れていくことを進めている。今後の成長分野として、半導体分野とデジタル分野を掲げており、県としても民間委託訓練や在職者訓練等で両分野の人材育成の強化を進めていきたい。
- ・市では、中小企業のDX支援の一つとして、機構の生産性向上支援訓練を活用した企業に対し、補助金を出している。利用する企業も出てきているので、これを機に周辺の企業にも利用が波及していくことを期待したい。
- ・定員充足率が低いが、PRが不足しているのではないか。
- ・IR（統合型リゾート）の佐世保誘致が決まれば、多くの人材確保が必要になり、周辺の既存企業の労働力不足及び流失等が課題になると考えられる。早期のうちに雇用の課題に関するシュミレーションを十分に重ね、市と県及び各労働関係機関とが一緒に協議していく必要がある。

令和4年度第2回長崎県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会  
長崎職業能力開発促進センター佐世保訓練センター一部会委員名簿  
(敬称略)

原	哲弘	(座長)	長崎国際大学非常勤講師 (元同大学准教授)
古川	洋介		日本労働組合総連合会長崎県連合会佐世保地域協議会事務局長
足達	太一郎		佐世保商工会議所業務部長
中野	達也		佐世保機械金属工業協同組合代表理事
坂本	康則		佐世保電気工事業協同組合副理事長
末竹	伸二		佐世保管工事協同組合理事
中村	浩樹		佐世保公共職業安定所所長
吉田	憲司		長崎県産業労働部雇用労働政策課長
金子	泰雄		佐世保市観光商工部副部長